

成田空港活用協議会
平成28年度 事業報告
(資料編)

目 次

(1) 誘客促進事業

ア 国内線就航先との交流促進 1

イ 海外向け誘客促進 18

(2) 空港利用促進事業

ア 関東圏でのナリタPR 27

イ ナリタファンの拡大に向けた取組 31

ウ 会員向け利用促進 36

(3) ビジネス支援事業

ア 会員の新たな事業・ビジネス展開に向けた協働の場づくり . . 38

イ 経済活性化セミナー 44

ウ マーケットリサーチ 49

(4) 要望活動 51

(5) 会員提案の募集・具体化 53

(6) その他 54

(1) 誘客促進事業

ア 国内線就航先との交流促進

北海道との交流の促進

平成25年度、26年度と実施してきた北海道との意見交換や平成27年度に北海道・千葉交流パークゴルフ大会IN千葉や北海道からのパークゴルフモニターツアーなどの実施を踏まえ、今年度は、相互交流の更なる展開として、千葉県、北海道の双方で交流パークゴルフ大会(千葉の大会は荒天のため中止)を開催するとともに、それにあわせたパークゴルフモニターツアーなどを行った。

[展開]

1 北海道・千葉交流パークゴルフ大会IN北海道及び千葉県からのモニターツアー

平成27年度に実施した「北海道・千葉交流パークゴルフ大会IN千葉」及び北海道からモニターツアーに続き、平成28年9月に、「北海道・千葉交流パークゴルフ大会IN北海道」及び千葉県からのモニターツアーを実施した。

《パークゴルフ大会、表彰式・交流会》

- ・日 時：平成28年9月8日(木) 8:30~14:00
- ・場 所：えべつ角山パークランド
- ・内 容：

開会式(8:30~9:00)

主催者挨拶(えべつ角山 日高社長)、来賓あいさつ、ルール説明、記念撮影

※開会式に出席予定だった森田知事は、千葉県での台風対応のため欠席。

競技(9:00~12:30)

表彰式・交流会(12:35~14:00)

表彰、主催者挨拶(石井会長)、来賓紹介、乾杯、プレゼント抽選会

- ・参加者：180名

千葉県からのモニターツアー参加者 76名

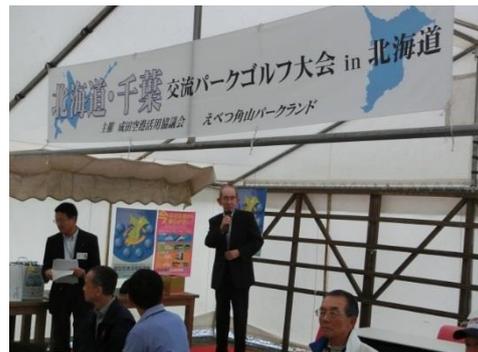
公募した北海道のパークゴルフ愛好者 104名

なお、交流会には、北海道庁、北海道観光振興機構、北海道経済連合会、関東パークゴルフ場協議会、千葉県、山武市、成田国際空港(株)に参加いただき、プレゼント抽選会の景品の授与などを行っていただいた。

(北海道商工会議所連合会は不参加だったが、景品を提供いただいた)



開会式記念撮影



交流会石井会長挨拶

《モニターツアー》

北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N 北海道の開催にあわせて、LCCや北海道でのパークゴルフを体験していただくモニターツアーを実施した。

- ・日程：平成28年9月7日（水）～9日（金）
（募集期間：6月24日（金）～7月24日（金））
- ・代金：45,800円～
- ・参加者：76名（バニラ便：35名 ジェットスター便：41名）
- ・ツアー行程：

日次	月日	行程	食事
1 日目	9月7日 (水曜日) ※申込み先の 利用航空便毎 に出発時間が 異なります。	【往路バニラエア便（日本旅行）】 6:00 集合 成田空港→→新千歳空港→えべつ角山パークランド→ホテル 宿泊先：アートホテルズ札幌	朝：× 昼：弁当 夜：ホテル
		【往路ジェットスター便（JTB）】 8:30 集合 成田空港→→新千歳空港→えべつ角山パークランド→ホテル 宿泊先：アートホテルズ札幌	朝：× 昼：弁当 夜：ホテル
2 日目	9月8日 (木曜日)	午前：えべつ角山パークランド (北海道・千葉交流パークゴルフ大会 in 北海道) 午後：表彰式・交流会 (交流会では景品が当たる抽選会も開催) →大倉山展望台→市内観光（車窓）→ホテル 宿泊先：アートホテルズ札幌	朝：ホテル 昼：パーク ランド (交流会) 夜：×
3 日目	9月9日 (金曜日)	8:30 ホテル→メイプルパークゴルフコース→道産市場（お買物） →新千歳空港→※→成田空港(19:20頃)到着後 各自解散 ※復路は全員バニラエア便を利用	朝：ホテル 昼：弁当 夜：×

[アンケート結果及び主な意見]

○ これまでの成田空港の利用状況

初めて 19% 国際線 42% 国内線 34% 無回答 5%

○ 第3ターミナルの印象

自動車で直接行けないのがちょっと不便

第2ターミナルからバスに乗るのが不便

歩くのが遠い

広くて明るくて良い

○ ツアー全体の満足度

満足 36% やや満足 22% 普通 25%

やや不満 6% 不満 1% 無回答 10%

・コースが広くて快適

・パークゴルフは2日間でよい

・観光は要らない

・日程がゆったりしていてよい

[メディアへの露出] 3件

- 新聞 千葉日報（9月9日）
- テレビ 千葉テレビ（9月9日）、札幌テレビ（9月17日）

[協力会員]

(株)JTBコーポレートセールス、ジェットスター・ジャパン(株)、千葉県レクリエーション都市開発(株)、千葉テレビ放送(株)、(株)千葉日報社、(株)日本旅行、バニラ・エア(株)、成田国際空港(株)、山武市、千葉県

2 札幌ドームにおけるPR

県と連携して、「北海道から関東へ北海道日本ハムファイターズの応援に行くなら成田LCCがオトク！」と題して、PRを行った。

- ・日時 平成28年9月7日（水） 16時～19時
- ・場所 札幌ドーム
- ・内容
 - ①札幌ドーム入場者にチラシの配布（15,000部）
 - ②県との共同ブースにおける、ポスター等の展示、チラシ配布、野球観戦における航空機利用に係るアンケート・プレゼント抽選会の実施（500人）



配布チラシ



ブース風景

[協力会員]

ジェットスター・ジャパン(株)、千葉テレビ放送(株)、(株)千葉日報社、バニラ・エア(株)、成田国際空港(株)、山武市、千葉県

3 北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N 千葉及び北海道からのモニターツアー

9月に実施した「北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N 北海道」及び千葉からのモニターツアーに続き、「北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N 千葉」及び北海道からのモニターツアーを実施するとともに、北海道のパークゴルフ場関係者と千葉県のパークゴルフ場関係者を交えて、今後のパークゴルフを通じた北海道と千葉県の交流促進のための意見交換を行った。

なお、「北海道・千葉交流パークゴルフ大会 I N 千葉」については、悪天候のため、大会は当日中止となり、参加者を対象とした景品の抽選会を行った。

《モニターツアー》

北海道のパークゴルフ愛好者を対象に、成田LCCや千葉県でのパークゴルフ等を体験していただくモニターツアーを実施した。

- ・日程：平成29年3月13日（月）～16日（木）
- ・代金：69,900円～
- ・参加者：45名
- ・旅行主催者：北海トラベル(株)（札幌市）

札幌市にある、沖縄・九州など全国各地へのパークゴルフツアーを催行している旅行会社。成田空港活用協議会の働きかけにより、LCCを利用したツアーを、今回、初めて催行した。

- ・利用航空会社：バニラエア
- ・ツアー行程

日次	月日	行程	食事
1 日目	3月13日 (月曜日)	10:40 JW906 12:25 新千歳空港→成田空港→エコパークゴルフ大木戸→ホテル 宿泊先：蓮沼ガーデンハウスマリーノ	朝：× 昼：× 夜：ホテル
2 日目	3月14日 (火曜日)	ホテル→佐倉グリーンパーク（午前）→しすいの森パークゴルフ場（午後）→ホテル 夜 ホテルにて歓迎レセプション (歓迎レセプションでは景品が当たる抽選会も開催) 宿泊先：蓮沼ガーデンハウスマリーノ	朝：ホテル 昼：クラブハウス 夜：歓迎レセプション
3 日目	3月15日 (水曜日)	ホテル→タケエイエコパークゴルフ大木戸 (北海道・千葉交流パークゴルフ大会 in 千葉が中止となったため景品抽選会を実施) →イチゴ狩り（山武市）→ホテル 午後は、以下の2つの行程から選択 ①守屋酒造（山武市）で、日本酒オリジナルラベル作成体験。 ②蓮沼海浜公園パークゴルフ場でプレー 宿泊先：蓮沼ガーデンハウスマリーノ	朝：ホテル 昼：ホテル 夜：ホテル
4 日目	3月16日 (木曜日)	ホテル→蓮沼海浜公園パークゴルフ場→道の駅おらい蓮沼→ 15:15 JW919 17:00 成田空港→新千歳空港 到着後解散	朝：ホテル 昼：道の駅 夜：×



第3ターミナルに到着



歓迎レセプションでは、主催者を代表して木原幹事長があいさつ



山武市の椎名市長が
歓迎のあいさつ



守屋酒造でマイラベルづくりを体験

[アンケート結果及び主な意見]

○ 新千歳ー成田間の就航について

知っていた 35% 知っていたが利用したことはない 41%
 知らなかった 24%

○ ツアー全体の満足度

満足 31% やや満足 40% 普通 20%
 やや不満 9% 不満 0%

・料金の割に内容が充実している ・添乗員が良かった

[協力会員]

千葉県レクリエーション都市開発(株)、バニラ・エア(株)、成田国際空港(株)、山武市、千葉県

《景品抽選会》

悪天候によりパークゴルフ大会が中止になったため、大会用の景品の抽選会を実施。

- ・日 時：平成29年3月15日（水）8：30～10：00頃
- ・場 所：タケエイエコパークゴルフ大木戸（千葉市緑区）
- ・参加者：239名
北海道からのモニターツアー参加者 45名
公募した千葉県のパークゴルフ愛好者 194名

《パークゴルフ場関係者との意見交換会》

これまでに築いてきたパークゴルフを通じた北海道と千葉県の相互交流を更に進展させるため、北海道のパークゴルフ場関係者、千葉県のパークゴルフ場関係者を交えて、今後の連携について意見交換を行った

- ・日 時：平成29年3月14日（火）17：00～17：45
- ・場 所：蓮沼ガーデンハウスマリーノ
- ・出席者：
北海道の4つのパークゴルフ場関係者（社長、支配人） 4名
関東パークゴルフ場協議会※（会長、副会長等） 3名
月刊パークゴルフ新聞 1名
千葉県 2名
成田国際空港㈱ 2名
成田空港活用協議会木原幹事長、小松経済活性化部会長 2名
成田空港活用協議会事務局 3名
※千葉県内7つの民間パークゴルフ場で構成される協議会

- ・内 容：
パークゴルフ場間の連携による、北海道と千葉県の相互交流の推進のための方策について意見交換
○相互インセンティブの付与
○共同PR
○プレーヤーの相互交流のためのリボン等の着用
○協定書の締結
これらについて各自持ち帰り、実施可能なものについて検討することとなった。



意見交換の様子

4 函館プロモーション

2月19日にバニラエアの成田－函館線新規就航に伴い、成田国際空港株式会社、バニラ・エア株式会社等と連携して、成田空港及び千葉県の魅力を紹介するプロモーションなどを実施した。

《函館線新規就航イベント》

- ・日 時：平成29年2月19日（日）
- ・場 所：函館空港内
- ・内 容：函館から成田空港へ出発するお客様を対象としたセレモニーにて記念品、PRチラシ等の配布を行った。



PRの様子

《函館のパークゴルフ関係者との打ち合わせ》

- ・日 時：平成29年2月19日（日）16：00～17：00
- ・内 容：日本パークゴルフ協議会道南連絡会、函館市パークゴルフ協会の役員と、成田－函館線の新規就航を受け、パークゴルフを通じた今後の連携について意見交換を行った。

函館側の反応は前向きなものであり、今後役員会等に諮り、どんな連携ができるかについて検討する旨の回答を得た。



函館のパークゴルフ協会との意見交換の様子

《パークゴルフ新聞への広告》

- ・時 期：パークゴルフ新聞 3月号
- ・発行部数：約7万部
- ・内 容：パークゴルフ愛好家に対し利便性の高まる成田 LCC の PR を行った。

2月19日より
北海道と千葉がまた近くなった！
函館⇄成田間は片道4,990円から!!

バナラエア Vanilla Air
※バナラエアは、ANAホールディングス100%出資のLCC(格安航空会社)です。

函館⇄成田線が新規就航!

函館の方も
冬は あったかちば
パークゴルフ!

千葉県には、北海道に次いで全国第2位の多彩な公認コースがあります。
温暖な千葉県では、冬場でも気軽にパークゴルフを楽しめます。
皆様のお越しをお待ちしております。

成田空港活用協議会 URL <http://www.nrt-promo.jp/>
成田空港活用協議会は、成田空港が有するポテンシャルなどを最大限に活用して、
千葉県経済を活性化させるため、約150の企業・団体・行政が結集した組織です。
会長：石井俊昭 千葉県商工会連所連合会会長 特別顧問：森田健作 千葉県知事

千葉県の NPGA公認 コース MAP

① オスカーパークゴルフ公園船橋コース	⑥ タケエイエコパークゴルフ大木戸
② 習志野市茜浜パークゴルフ場	⑦ 成田市久住パークゴルフ場
③ 滝見兜船浦パークゴルフ場	⑧ 蓮沼海浜公園パークゴルフ場
④ あさひパークゴルフ場	⑨ 泉公園パークゴルフ場
⑤ 迎楽パークゴルフ場	⑩ 高洲海浜公園パークゴルフ場
⑥ フレンドパークゴルフ習志野	⑪ 佐倉グリーンパーク
⑦ しずいの森パークゴルフ場	

(登録順)

[総括]

- パークゴルフを活用した北海道と千葉県の相互交流については、道県双方での交流パークゴルフ大会やモニターツアーの実施により、パークゴルフ愛好者の間に徐々に定着してきた。
- LCCをあまり利用しないシニア層においても、モニターツアーでLCCを体験することにより、個人でLCCを利用するなど、交流の拡大につながった。
- 成田―新千歳・函館間には数多くの航空便が就航していることから、引き続き交流を発展させていくとともに、民間レベルの交流を促進するなど、継続的なものにして行く必要がある。

女子旅×成田LCCの更なる展開

平成27年度学生連携事業として実施した『女子旅×成田LCC』の発展形として、ターゲットである若年層の女性が良く利用するWEB媒体、SNSを活用し千葉県やLCCの魅力について情報発信を行った。

また、就航先からの学生を千葉県へ招待するモニターツアーを実施し学生同士の交流を行った。

[展開]

1. WEBプロモーション

①ウレぴあ総研『スマホ女子旅』特集を活用した情報発信について

○昨年度制作した女子旅×成田LCCサポートブック掲載内容のWEB記事化を行った。

○ターゲット層に関心のあるテーマや千葉県の魅力等について取材を行い、WEB記事配信を行った。

■『スマホ女子旅』特集ページの開設

- ・若い女性が思わずスマホでシェアしたくなるような「おすすめ旅情報を厳選し、旅に出なくなるきっかけづくりから、旅行に行くために知っておくと得する情報まで、写真満載で紹介する特集。
- ・ターゲットに合わせた旅に関する特集ページ内に様々な情報を集積し、集客性を高めることで、新規の千葉県記事や、女子旅冊子のリメイク記事の閲覧数増加をねらった。



スマホ女子旅
特集ページ画面

<配信記事 4本>

①『千葉でいくつの“奇跡”を目撃できる!? 絶景シーサイドスポット7選』

- ・千葉県内の絶景スポットを巡る旅をテーマにおすすめスポットを紹介する。
- ・別配信記事にて、絶景スポットをドライブコースで紹介する記事も配信した。

取材エリア：銚子市、木更津市、九十九里町

PV 15,083 UU9,756 (10/7~11/4)

- ・女性が7割以上、20~30代が8割以上とターゲットへのアプローチに成功した。

- ・旅行に関心のある人の特性として、「流行やトレンド情報」に関心を持つ人、比較的金銭面に余裕のある人が多い印象。(アクティブに活動する女性層)

②『パワースポット、レトロな街並み…旅にちょい足し！成田空港周辺おすすめスポット 11選』

- ・成田空港から1時間で行けるスポットをテーマに空港周辺のスポットを紹介した。
取材エリア：成田市、佐倉市、芝山町、香取市
PV 12, 704 UU 10, 191 (1/10～2/7)
- ・トレンド(おでかけ、グルメ)に敏感な30代女性のアクティブ層が反応した。
- ・関東近郊が多いが、愛知県、大阪府、北海道など成田空港国内線就航先からも閲覧された。

③『もふもふ天国「アイドル動物」たちに癒される、千葉おすすめスポット7選』

- ・観光牧場や動物テーマパークが充実している千葉において、触れ合いや写真撮影ができるアイドル動物を紹介した。
PV 13, 917 UU 10, 765 (2/25～3/25)
取材エリア：市原市、館山市、千葉市、成田市、鴨川市
- ・30代、次いで20代女性の閲覧が多く、ネットなどを日々チェックする、情報に敏感な層にリーチした。

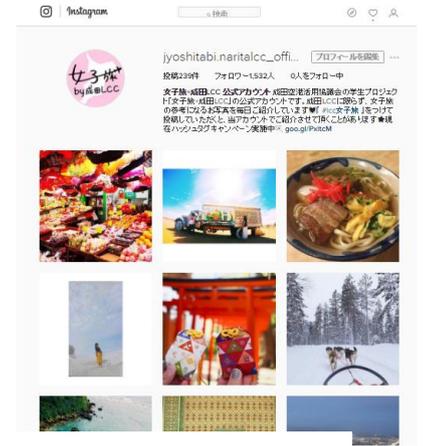
④『“世界にひとつ”が手に入る！千葉ならではの「人気体験スポット」5選』

- ・千葉県ならではの伝統工芸やフルーツ狩りなど、体験スポットを紹介した。
PV 15, 010 UU 13, 029 (3/23～4/20)
取材エリア：栄町、鴨川市、銚子市、南房総市
- ・30代、次いで20代女性の閲覧が多く、体験スポットやレジャースポットに興味がある女性層へリーチした。

2. 学生によるSNSを活用した情報発信等

①Instagram アカウント『女子旅 by 成田 LCC』での情報発信

- ・「女子旅」をコンセプトとした画像を紹介するアカウントを開設。ユーザー同士が「#lcc 女子旅」というハッシュタグ(＃)を付与して投稿したものを、当アカウントで毎日紹介した。
 - ・開始から5か月でフォロワー数3,000人を突破。「#lcc 女子旅」を付与した投稿も15,000件を超えた。
- 平成28年10月18日(火)～平成29年3月27日まで



女子旅 by 成田 LCC
Instagram 画面

②千葉県情報、LCC 情報の発信

- ・学生メンバーが実際に千葉県内のスポットを現地調査し、ブログ等で情報発信を行なうとともに、LCC情報(航空券の買い方、路線の紹介)、成田空港情報など、学生のLCC利用にあたり関心のある情報の発信も行った。

※ブログ記事は、SNS (Facebook、Twitter など) とも同期させ、各媒体を通じた情報拡散も展開した。



女子旅×成田 LCC ブログ
千葉県おすすめスポット



女子旅×成田 LCC ブログ
LCC 情報

③千葉県モニターツアーの開催

- ・成田LCC就航先3都市（広島、福岡、那覇）の大学生8名を千葉県に招待し、LCCや千葉県内のおすすめスポットを実際に体験してもらい、体験の様子を参加者各自のSNSなどで情報発信してもらおうとともに、モニターツアーの印象、実際にLCCを利用した感想などをブログ、Facebookなどで発信した。
- ・また、就航先学生、千葉県学生、NAA、千葉県などを交えた意見交換会、交流イベントを実施した。

時期：平成29年2月26日（日）～28日（火） 2泊3日



佐原・小見川観光船体験



酒々井・プレミアムアウトレットでショッピング



集合写真



意見交換会の様子

[協力会員]

(株)秋葉牧場、(株)グランビスタ ホテル&リゾート 鴨川シーワールド、(一財)千葉県勝浦海中公園センター、(公財)航空科学博物館、成田国際空港(株)、大本山成田山新勝寺、県立房総のむら、(株)マザー牧場、米屋(株)、千葉県、千葉市、銚子市、木更津市、成田市、佐倉市、香取市、神崎町、芝山町

[メディア露出] 5件

- 新聞 日経新聞 (10月26日)、(2月23日)
朝日新聞 (3月3日)、千葉日報 (3月22日)
- テレビ 成田ケーブルテレビ (3月6日)

[総括]

- WEB記事では、新規の千葉県記事だけでなく、昨年度制作した女子旅×成田LCCサポートブック記事をWEB版へ再編集し配信するなど、ターゲットである若年層の女性を中心に情報発信ができた。
- 学生プロジェクトでは、SNSやブログを中心に情報発信を展開する中、Instagramを利用した情報発信に注力し、多くのフォロワーを獲得するとともに、一般の方から多くの投稿を集めることに成功した。
- モニターツアーにあたっては、学生が来訪者の選定から案内、ツアー行程の作成、当日のアテンドなどを実施。参加者の満足度も高く、自ら多くの画像をInstagramに投稿しており、モニターからもSNSを利用した情報発信が行われた。
- 就航先の学生を交えた意見交換では、千葉県の魅力や、LCCの情報を伝えるとともに、就航先の旅の魅力も知ることが出来た。

スポーツツーリズムをテーマとした就航先との交流促進

千葉県内プロスポーツチームと連携し、アウェー戦観戦には安く、便利な成田LCCを利用してもらえるようなPRを行う。また、就航先チームのファンにも成田LCCの魅力を紹介することで誘客、送客一体となった相互交流を行った。

[展開]

1. 千葉ロッテマリーンズと連携した取り組みについて

● QVCマリンフィールドでのPR

豊富な成田空港国内線ネットワークやLCCの安さの秘密、他の交通手段との比較などを紹介するチラシを配布した。

また、チラシ内にあるQRコードからアンケートに回答いただいた方の中から抽選で、マリーンズ選手の直筆サイン入りユニフォーム（10名）などが当たるキャンペーンを実施した。※応募期間 8月2日～31日まで

日 程 8月 2日（火）北海道日本ハムファイターズ戦
8月14日（日）福岡ソフトバンクホークス戦
8月30日（火）大阪オリックスバファローズ戦

配布場所 QVCマリンフィールド 入場ゲート

配布枚数 3試合 合計45,000枚



チラシ配布の様子

● 千葉ロッテマリーンズ会報誌への広告掲載

野球ファンの皆様に広く成田LCCの魅力を知っていただくため、球場で販売されているマリーンズマガジンに広告を掲載した。

媒体 マリーンズマガジン 8月号

発行 5万部

内容 チラシと同じデザインを使用（国内線ネットワーク記載面のみ）



マリーンズマガジン

● 成田LCC利用ビジター戦応援ツアーの実施

千葉ロッテマリーンズの協力により、これまで羽田空港発のツアーしかなかった千葉ロッテオフィシャルファンツアーに、成田LCCを利用したツアーを追加でき、多くの方

に成田LCCを利用する機会を設けることで、LCCの魅力を実際に体感していただき、利用促進に繋げた。

当協議会からは、マリーンズ選手の直筆サイン入りビジター戦ユニフォームや応援メガホンをプレゼントした。(7月～9月 89名利用)

● 「スーパーマリンフェスタ2016」でのPR (11月23日 (水))

①スタジアムでのチラシ配布

マリーンズのファン感謝イベントにおいて、豊富な成田空港国内線ネットワークやLCCの安さの秘密、他の交通手段との比較などを紹介するチラシを配布した。

配布場所 QVCマリンフィールド 入場ゲート

配布枚数 8,000枚

②スタジアム内大型ビジョンでのPR

スタジアム内の大型ビジョンにおいて、成田空港の便利さをPRするCMを放送した。



チラシ配布の様子



大型ビジョンでのCM放映

2. ジェフユナイテッド千葉と連携したプロモーション

● フクダ電子アリーナでのPR (8月7日 (日))

①ブースでのPRイベント

スタジアム前(北公園広場)において、アンケートに回答いただいた方(先着500名)を対象に、ジェフ千葉選手の直筆サイン入り2016レプリカゲームシャツ(5名)や成田空港活用協議会オリジナルQUOカード500円分(50名)、熊本銘菓フジバンビ黒糖ドーナツ棒が当たる抽選会を行った。

また、翌週8月14日(日)のロアッソ熊本戦に向け、多くのジェフサポーターの皆様から、熊本復興への募金活動や熊本の方への応援メッセージをお預かりした。



イベントの様子



応援メッセージ

②スタジアム内大型ビジョンでのPR

スタジアム内の大型ビジョンにおいて、『アウェー戦には安くて便利な成田LCCを！』のCMを放送した。



大型ビジョンでのPR

③スタジアム入場時のチラシ配布

豊富な成田空港国内線ネットワークやLCCの安さの秘密などを紹介した。(配布枚数10,000枚)

● ジェフユナイテッド千葉会報誌への広告掲載

多くのジェフサポーターに成田LCCの魅力を知らせていただくため、会報誌「UNITED」8月号へ広告を掲載した。

3. 熊本県、県民運動推進本部、ロアッソ熊本と連携したプロモーション

● うまかな・よかなスタジアムでのPR 8月14日(日)

①試合開始前セレモニー

8月7日(日)にジェフサポーターの皆様からお預かりした熊本復興募金及びメッセージを「ロアッソ熊本をJ1へ」県民運動推進本部(熊本)へとお渡しするセレモニーをサッカーフィールドで実施した。



セレモニーの様子

②ブースでのPRイベント

スタジアム内コンコースにおいて、アンケートに回答いただいた方(先着500名)を対象に、ロアッソ熊本選手の直筆サイン入りユニフォーム(5名)や成田空港活用協議会オリジナルQUOカード500円分(50名)、成田国際空港グッズなどが当たる抽選会を行った。



イベントの様子

③スタジアム入場時のチラシ配布

豊富な成田空港国内線ネットワークやLCCの安さの秘密などを紹介した。

(配布枚数7,000枚)

④スタジアム内大型ビジョンでのPR

スタジアム内の大型ビジョンを使い、『アウェー戦には安くて便利な成田LCCを!』のCMを放送した。



大型ビジョン

【協力会員】

ジェットスター・ジャパン(株)、春秋航空日本(株)、千葉テレビ放送(株)、成田国際空港(株)、バニラ・エア(株)、千葉県

【メディアへの露出】 1件

□テレビ チバテレビ (8月7日)

【総括】

- スポーツ観戦という明確な目的を持つ対象に向けて、成田空港の国内線ネットワークやLCCについてのPRができたことは、訴求効果が大きく、このような交流促進事業はこれからも継続していくことが重要である。
- アンケートの回答(8/7ジェフ戦のみ集計)では、96%が1シーズン4回以上のサッカー観戦をしており、関東以外へのアウェー戦へも59%が2回以上行っており、コアなファン層にアプローチすることができた。
- LCCの認知度が89%に上る一方で、66%が利用したことがないと回答している。そのため、LCCの利用にあたりネックとされている、安全性に関する不安を取り除くなどのPRを行うことで、利用につなげる必要がある。
- 熊本県、ロアッソ熊本、県民運動推進本部と綿密な連携をとることができ、双方向での交流促進事業ができた。
- 既存のチームスポンサーなどの影響で、就航先との連携やエアラインロゴの掲載を断られるなど、難しい面も多かった。

イ 海外向け誘客促進事業

タイ王国からのメディア招聘事業

千葉県やナリタの魅力をより多くの外国人に伝えるため、(公社)千葉県観光物産協会、(公財)ちば国際コンベンションビューロー及び千葉インバウンド促進協議会と連携して、タイ王国のメディア関係者を招請し、県内観光ツアーを実施した。

[展開]

1. タイ王国メディア関係者の招請

6月14日～17日の日程でタイメディアを招請し、県内観光ツアーを実施した。

● 訪問場所・体験

成田市： 成田国際空港（税関内外店舗、甲冑着付体験） さくらの山、
成田山新勝寺（護摩炊き・表参道散策・和菓子店などの視察） ウナギ料理、
米屋観光センター

香取市： 佐原の町並み、小野川観光船

銚子市： 銚子電鉄乗車、犬吠埼灯台、犬吠埼温泉、金目鯛料理、魚市場見学、
屏風ヶ浦

旭 市： 龍福寺、メロン試食

富津市： マザー牧場（園内視察・ジンギスカンの昼食）、鋸山

木更津市： 三井アウトレットパーク木更津、海ほたる、スイーツ体験

千葉市： 千葉都市モノレール試乗、握り寿司の昼食、フルーツ狩り（ブルーベリー）

浦安市： 大江戸温泉万華鏡、三社祭山車の視察、東京ディズニーリゾート



成田空港での甲冑体験の様子



小野川観光船の様子

● 日程

月日	時間	内容
6月14日 (火)	8:00 11:00 13:00 14:00 17:00	成田空港着 空の駅 さくら館 (さくらの山) (成田市) 成田山新勝寺 御護摩祈祷 (成田市) 米屋観光センター (成田市) 小江戸の町並み、小野川観光船 (香取市佐原) 銚子電鉄乗車、犬吠埼灯台 (銚子市) 【犬吠埼ホテル (泊)】
6月15日 (水)	8:20 9:00 10:00 10:30 12:00 14:00 16:30	銚子魚市場 (銚子市) 屏風ヶ浦 (銚子市) 道の駅 季楽里あさひ「貴味メロン」試食 (旭市) 龍福寺 (旭市) マザー牧場 (富津市) 鋸山 (富津市) 三井アウトレットパーク木更津 (木更津市) 【オークラアカデミアホテル (泊)】
6月16日 (木)	9:00 11:00 13:30 16:00 17:00	海ほたる (木更津市) モノレール試乗 (千葉市) ブルーベリー狩り (千葉市) 大江戸温泉 万華鏡 (浦安市) 三社祭山車見学 (浦安市) 【オリエンタルホテル東京ベイ (泊)】
6月17日 (金)	AM 15:00 20:15	自由行動 成田空港見学 成田空港発

2. タイ王国メディアからの情報発信

旅行中及び帰国後に各招請メディアから、自国内に向けて情報発信を行った。

● 招請メディア

名称	媒体形式	発行部数等	広告価値※
Kom Chad Luek	日刊紙	900,000 部/日	598,006 円
Daily News	日刊紙	850,000 部/日	770,275 円
Praew	隔週誌	300,000 部/月	409,934 円
GM Travel Magazine	月刊誌	80,000 部/月	19,933 円
Honeymoon Travel	月刊誌	80,000 部/月	248,793 円
TAMAGO	月刊誌/Free	100,000 部/月	530,200 円
Lisa	隔週誌	150,000 部/刊	364,452 円
Travel T360 Thailand - Inflight Mag	月刊誌/機内誌	30,000 部/月	239,202 円
EDT Guide.com	旅行サイト	1,127,169 いいね/Facebook	4,485 円
High on Dream	ブロガー	97,228 いいね/Facebook	9,966 円
Barefoot	月刊誌	50,000 部/月	385,055 円
Marumura.com	旅行サイト	180,884 いいね/Facebook	4,485 円
Travel Blogger - Forzanu	ブロガー	14,909 いいね/Facebook	4,485 円

※各社が算出した今回の情報発信相当の広告料（パーツ）を 2016 年平均 TTB で円換算
（合計 3,589,271 円）

3. 招請メディアへのアンケートの実施

○日本について調べる際に利用するメディア

特筆は「TAMAGO」、その他 Web や雑誌は様々なものを利用

○千葉のイメージ

[訪れる前] 騒がしい、東京のそば、チーバくん、イチゴ狩り

[訪れた後] 心地よい、穏やか、海、自然と都会の2つの魅力がある

○ファムトリップについて

[印象に残った場所]

佐原 5 名、マザー牧場 2 名、成田山表参道 2 名、鋸山 1 名、犬吠埼の海岸線 1 名

[印象に残らなかった場所]

銚子魚市場 2 名（時化のため）、屏風ヶ浦 1 名、

浦安の神輿見学 1 名（祭り当日ではないため）

[参画会員]

(公社) 千葉県観光物産協会、(公財) ちば国際コンベンションビューロー、
千葉インバウンド促進協議会

[協力会員]

(株)N A Aリテイリング、(株)かずさアカデミアパーク、千葉県レクリエーション都市開発(株)、
成田国際空港(株)、大本山成田山新勝寺、(株)マザー牧場、三井不動産(株)、米屋(株)、千葉市、
銚子市、木更津市、成田市、旭市、香取市

[総括]

- 日常の風景、花に強い興味を示していた。食べ物ではフルーツや肉に関心があった。
しかし、宗教上の理由で護摩炊きや牛肉を受け付けられない参加者もいたため、配慮が必要である。
- 招請したタイムメディアはジャンル、媒体の種類が様々であったが、総じて千葉は魅力ある場所、施設、文化、食が揃っており、また来たいとの評価であったことは、観光資源が豊かであることの証明となった。
- 写真映えする場所を好む傾向があり、佐原やマザー牧場は人気があった。
- 事業内容について、十分に検討する時間を取ることができなかったが、会員企業及び自治体の協力を得て、千葉県及びナリタの魅力を紹介することができた。

[メディアへの露出] 1件

新聞 朝日新聞(6月16日)

ランドオペレーターとの商談会・交流会の実施について

昨年度に続き、当協議会と千葉インバウンド促進協議会の共催のもと、会員企業、団体及び自治体にランドオペレーターを活用していただくことで、千葉県を訪れる訪日外国人旅行客の増加に向けた魅力的な旅行商品の造成に繋げ、アジアからの観光客の更なる増加を目指すため、東アジアや東南アジアの両地域を手掛けるランドオペレーターとの「商談会・交流会」を実施した。

※ランドオペレーター

主に海外旅行で、宿や観光地、現地の交通手段など往復航空機以外の「地上手配」を専門に行う会社のこと。海外の多くの旅行会社は旅行先の国に支店を有しておらず、現地に詳しいランドオペレーターに手配を委託しているため、旅行商品の造成に大きく関わっている。



多くのブースが並ぶ会場の様子



各ブースでの商談の様子

[展開]

- 平成28年12月1日（木）に「スパ&リゾート太陽の里九十九里」にて商談会を行った。
- 商談会では、ランドオペレーター11社に対し、34の会員企業・団体が参加した。会場にはランドオペレーターのブースを設置し、会員企業・団体が各ブースを回り商談を行った。
- 商談会は1コマ10分で12コマ実施した。時間が足りない面も見られたが、商談会終了後の交流会で、さらなる交流を深めた。

[メディアへの露出] 1件

□テレビ NHK（12月2日）

[参加者等]

□会員 34団体（社）54名（千葉インバウンド促進協議会員を含む）

□協力会員 千葉インバウンド促進協議会

[総括]

- 昨年度に引き続き、千葉インバウンド促進協議会との共催により、観光・宿泊・交通と幅広い会員事業者を呼ぶことができた。
- 参加者からは10分間の商談会のなかで成約まで至るのは難しかったが、今回のことをきっかけに個別の訪問を重ねたいといった声があり、今後の展開に向けたきっかけづくりとして利用された。
- 一方で、団体旅行の受注やランドオペレーターから新しい連携の提案があった参加者もあり、きっかけづくり以上の成果もみられた。
- 商談会の時間配分について、参加者から10分間は短いという声と待ち時間が長いという声があったが、1回の商談時間を10分より短くすることは難しいため、参加いただくランドオペレーターを増やすことが望ましい。
- 今年度は交流会でラッキードローを実施せず、参加者同士が個々に歓談できる時間を増やすことで、商談会で話し足りなかった部分を補うことができた。
- 開催後のアンケートでは、参加した会員から今後も引き続き行ってほしいという声があった。

海外向け WEB での情報発信

千葉県やナリタの魅力をより多くの外国人に伝えるため、会員と連携して成田空港を起点とした観光やグルメスポットについて、外国人向けウェブマガジンによる多言語の情報発信を行なった。

[展開]

《WEBでの情報発信》

- 成田国際空港株式会社と連携して、外国人向けウェブマガジン「Matcha」にて多言語のWEB記事配信を行った。
- 台湾人の記者が外国人目線で見えた魅力的なスポットやグルメについて取材を行い作成した記事を、日本語をはじめとする計8言語（英語、中国語（簡体字、繁体字）、韓国語、インドネシア語、タイ語、ベトナム語）で配信した。
- 平成29年3月30日にWEB記事を公開した。

■外国人向けウェブマガジン「Matcha」について

- ・ターゲットユーザー
国：台湾（他211の国・地域からアクセスあり）
年齢：20代～30代
属性：FIT（個人旅行者）
- ・メディア概要
PV：約2,500,000／月
UU：約1,000,000／月
※PV＝ページビュー（サイトが見られた回数）
※UU＝ユニークユーザー（サイトを訪れる人の数）

■『成田空港』特集ページの開設

- ・空港でのショッピングやトランジットツアーの案内から、成田空港を起点とした千葉県内の観光地の情報まで、千葉県及びナリタの魅力を紹介する特集。
- ・成田空港及び空港周辺の観光地スポットの紹介による認知度と利用者数の向上、訪日客に対する「成田国際空港」＝「日本のHUB」という意識の醸成、成田空港利用者の千葉県の周遊促進をねらった。

■配信記事

①【東京近郊】秘密にしておきたい千葉の美味しいもの、ここだけでお教えします！

- ・ 銚子漁港のとれたて海鮮丼
- ・ 香り高くやみつきになる「勝浦タンタンメン」！！
- ・ 銚子電鉄ぬれ煎餅
- ・ 新鮮なイチゴ食べ放題！
- ・ 木更津潮干狩り

②【東京近郊】レトロ列車で千葉県周遊。小湊、いすみ、銚子鉄道の旅！

- ・ 小湊鉄道
成田空港からの行き方、車両特徴、沿線スポット
- ・ いすみ鉄道
成田空港からの行き方、車両特徴、沿線スポット
- ・ 銚子電鉄
成田空港からの行き方、車両特徴、沿線スポット

[アクセスレポート] (集計期間 2017/3/29-2017/4/26)

①【東京近郊】秘密にしておきたい千葉の美味しいもの、ここだけでお教えします！

総PV数：6, 385PV

《Facebook 投稿》

[リーチ] 272, 783 (英語 41,401 繁体字 51,248 タイ語 180,134)

[いいね] 1, 432 (英語 498 繁体字 288 タイ語 646)

[シェア] 268 (英語 96 繁体字 41 タイ語 131)

②【東京近郊】レトロ列車で千葉県周遊。小湊、いすみ、銚子鉄道の旅！

総PV数：11, 483PV

《Facebook 投稿》

[リーチ] 311, 100 (英語 52,228 繁体字 82,201 タイ語 176,671)

[いいね] 2, 176 (英語 253 繁体字 978 タイ語 945)

[シェア] 423 (英語 49 繁体字 142 タイ語 232)

《言語別PV数・滞在時間》

言語×記事比較 記事タイトル	日本語		英語		繁体字		簡体字		タイ語		インドネシア語		ベトナム語		韓国語	
	PV	滞在時間	PV	滞在時間	PV	滞在時間	PV	滞在時間	PV	滞在時間	PV	滞在時間	PV	滞在時間	PV	滞在時間
【東京近郊】秘密にしておきたい千葉の美味しいもの、ここだけでお教えします！	96	2:22	510	4:18	3,118	4:00	15	1:26	2,543	4:58	24	4:12	45	6:43	34	1:27
【東京近郊】レトロ列車で千葉県周遊。小湊、いすみ、銚子鉄道の旅！	103	3:13	424	5:24	7,393	4:40	21	2:32	3,441	5:21	55	3:06	20	6:09	26	1:27

[参画会員]

成田国際空港(株)

[協力会員]

銚子市、館山市、木更津市、市原市、勝浦市、大多喜町

[総括]

- 簡体字については、記事が読まれた時間が短く、今回取り上げた内容ではあまり訴求できていないのではないかと考えられ、「モノ消費」から「コト消費」と言われているものの、「モノ消費」はまだまだ人気があり、MATCHA内記事でもショッピングに関する内容は人気がある。
- 簡体字、韓国語以外の言語については、しっかりと記事が読まれており、欧米、東南アジアからの訪日客は、ショッピングよりも日本ならではの食や景色を楽しむことを期待されており、また、台湾では、ショッピングの人気も高いが、同様に景色や日本食を楽しむことも人気となっていることが理由と考えられる。

(2) 空港利用促進事業

ア 関東圏でのナリタPR

成田空港利用促進キャンペーン

県内、首都圏において、様々な機会を通じ、豊富な国際線・国内線ネットワークや、アクセス利便性の向上など、進化を続ける“ナリタ”の魅力を発信した。

また、平成29年2月26日の圏央道つくば中央—境古河間の開通により、アクセス利便性の向上した北関東でも千葉県、成田空港の魅力を発信した。

[展開]

1 県内向け利用促進プロモーション

①成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業連動プレゼント企画

【時期】平成28年9月17日(土)～10月31日(月)

【対象】応募件数1,111件

- ・無料高速バスに乗車し応募した方の中から抽選で110名の方に成田空港活用協議会オリジナルクオカードをプレゼントした。
- ・成田空港の国内線ネットワーク訴求のチラシを作成し、車内で配布するとともに、無料高速バスの専用ホームページからのリンクでも成田空港の充実したネットワークをPRした。



チラシデザイン

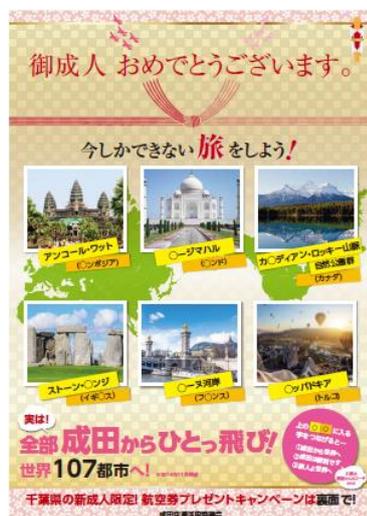
②県内成人式におけるプロモーション

【時期】平成29年1月7日(土)～1月10日(火)

【場所】千葉県内 協力会員46市町村 成人式会場

【対象】新成人 約40,000人

- ・新成人に対し、お祝いメッセージを贈るとともに、国内線ネットワークや、会員航空会社の航空券等が当たるプレゼントキャンペーン紹介のチラシを配布した。



チラシデザイン

③千葉都市モノレールへの広告出稿

【時期】平成28年4月2日(土)～平成29年3月31日(月)

【対象】千葉県民(モノレール利用者や沿線を通られる方)

- ・ 県民向けに旅行需要の喚起につながるようなデザインで、多くの人の目を引くようにするとともに、成田空港の国内・国際線ネットワークをPRした。



デザイン

2 首都圏向け利用促進プロモーション

①『国際フェスティバル世界市 2016』におけるプロモーション

【時期】平成28年10月8日(土)、9日(日)

【場所】さいたまスーパーアリーナ前けやき広場

【対象】埼玉県をはじめとする北関東 来場者 2万人

- ・ パンフレット(4,000部)へのPR広告での協賛を実施。
- ・ 成田国際空港(株)と連携したイベントプロモーションも実施。
- ・ 埼玉エリアの若年層を対象に成田空港及び交通アクセスについてPRした。



パンフレット広告 デザイン



プロモーションの様子

②千葉県アンテナショップ「ちばI・CHI・BA」でのプロモーション

【日時】平成28年11月30日(月) 11時30分～13時30分

【場所】JPタワー「KITTE」地下1階 東京シティアイパフォーマンスゾーン

【対象】丸の内周辺に勤務するサラリーマンやOL 約200名

- ・ 出張や旅行などで成田空港を利用してもらうことを目的にパンフレットの配布や抽選会を行い、首都圏から成田空港への充実した交通アクセスや豊富な就航先についてPRした。



プロモーションの様子



配布物

3. 北関東向け利用促進プロモーション

①ハイウェイウォーカーへのタイアップ記事掲載

【時期】平成29年4月号（3月20日発行）

【配布場所】NEXCO東日本管内のSA・PA（186か所）

【発行部数】90万部

- ・高速道路利用者に対し、圏央道の開通でアクセス利便性が向上した成田空港の持つ豊富なネットワークをPRした。
- ・また、空港を目的地として遊びに来てもらえるよう空港内施設の紹介や、駐車場の割引クーポンを添付した。



タイアップ記事

②栃木県、佐野SAでのプロモーション

【日時】平成29年3月11日（土）、12日（日）10時～19時

【場所】東北自動車道 佐野サービスエリア

- ・千葉県、千葉県観光物産協会と連携し、圏央道開通により成田空港へのアクセス利便性が向上した栃木エリアでのPRを実施した。



イベントの様子



イベントの様子

[協力会員]

アイベックスエアラインズ(株)、京成電鉄(株)、京成バス(株)、ジェットスター・ジャパン(株)、春秋航空日本(株)、全日本空輸(株)成田空港支店、東京空港交通(株)、成田国際空港(株)、日本航空(株)、日本旅行(株)、バニラ・エア(株)、ビー・トランセホールディングス(株)、東日本旅客鉄道(株)千葉支社、千葉県、46市町村会員

[総括]

- 県民向けの利用促進キャンペーンでは、高速バスチバストーリー、県内成人式でのキャンペーン、モノレールなど様々な機会、媒体を通じて、成田空港の国際・国内線ネットワークを中心としたPRを実施し、利便性が向上している現状を認識してもらい、成田空港が“OUR AIRPORT”であることの意識を強く持ってもらえるようにPRした。
- 首都圏において実施した、世界市フェスティバル2016、県アンテナショップでのPRイベントでは、ネットワークに加えアクセス面でのPRを実施した。
- 北関東エリアでは、高速道路利用者を対象にハイウェイウォーカーやサービスエリアでのキャンペーン等で、圏央道開通によるアクセス利便性の向上と成田空港のネットワークなどをPRした。
- 世界市、県アンテナショップ、成人式で実施したアンケート結果からは、LCCの認知度向上を確認できたことから、交通手段のPRだけでなく、旅行目的に合わせた成田空港利用促進キャンペーンを実施していく必要がある。

イ ナリタファンの拡大に向けた取組

成田ファンの拡大に向けた取組

成田空港をより身近な存在として認識し、親しみを持つ“ナリタファン”の拡大に向けて、学校生活の中でも大きな思い出となる社会科見学の増加を図るため、教職員向けのモニターツアーを実施するとともに、県内各地からの親子見学バスツアーを実施した。

[展開]

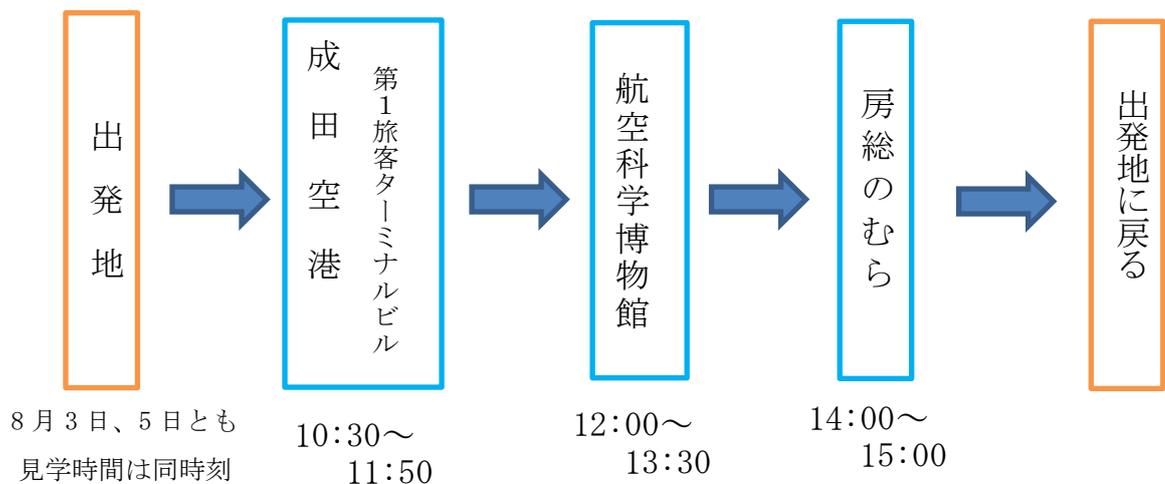
1 教職員モニターツアー

(1) 日時

千葉発：平成28年8月3日（水）

柏発：平成28年8月5日（金）

(2) 行程



(3) 参加者

小学校の教職員等

千葉発：27名 柏発：23名



成田空港の見学風景



房総のむらでは、体験メニューなどの説明を受けた

(4) 参加者の感想等

参加者全員から、今回のツアーは、今後の社会科見学に向けて役に立ったとの回答があった。

また、参加者の主な意見は以下の通り。

①成田空港

- ・ 空港で働いている職員の方のお話を聞いて、空港関連のお仕事への憧れ、尊敬の気持ちを新たにしたい。子ども達にもぜひ働いている方々のお話を聞かせたい。(管制塔、整備士 etc)
- ・ 空港のバックヤードツアーがあれば、職員さんの働いている所を見せたい。
- ・ 児童が世界に目を向けるいい機会になると思う。
- ・ 旅行者などが多く、大人数の見学では、安全が確保されるかどうか課題であると感じた。

②航空科学博物館

- ・ 展示物がやや古い感はあるが、スケールの大きさを感じられる。
- ・ 空と大地の歴史館も勉強させたいと思った。
- ・ 雨が降っても弁当を食べる場所があることがいい。

③房総のむら

- ・ 昔の町を実際に見ることで、生活を想像しやすい様に感じました。
- ・ 体験学習が多いので、社会科見学のコースに入れたい場所である。

[メディアへの露出] 1件

□新聞 朝日新聞(8月13日)

[協力会員]

(公財)航空科学博物館、(公財)千葉県教育振興財団(房総のむら)、千葉県中央バス(株)、成田空港交通(株)、成田国際空港(株)、千葉県

[総括]

- 成田空港への社会科見学がほとんど行われていない中で、成田空港への教職員の興味・感想が多く、今後、多くの学校の利用が期待できると感じられた。(航空科学博物館、房総のむらは、すでに多くの学校が利用している。)
- 今回のツアーを契機に、2校が、成田空港への社会科見学を実施した。また、来年度に向けては、数校から問い合わせが来ている。
- 児童の食事場所や案内方法、学習内容、雨天時の対応など、成田空港での社会見学の実施に向けては、更に受け入れ態勢を整備する必要がある。

2 親子見学バスツアー

(1) 対象

県内在住の小学4～6年生とその保護者

(2) 参加人員等

20組40名のバスツアーを4回実施

※約1000組の応募があり、抽選で参加者を決定。

(3) 実施日

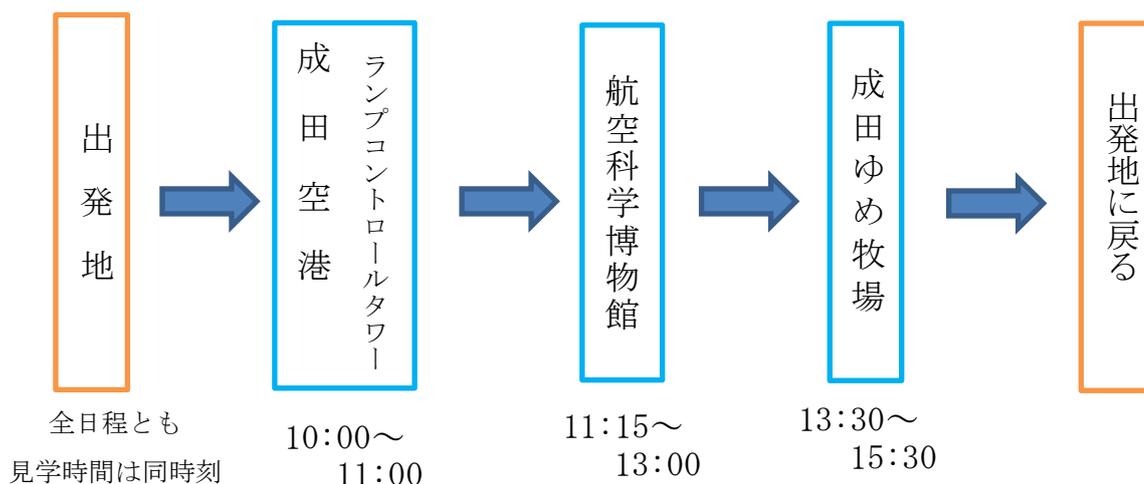
柏発 : 10月22日(土) 8:30～17:00

千葉発 : 10月30日(日) 9:00～16:30

茂原発 : 11月12日(土) 8:30～17:00

木更津発 : 11月26日(土) 8:30～17:00

(4) 行程



(5) 広報

①県民だより（9／5号）に掲載

②会員市町村の広報誌への掲載依頼

（木更津市、佐倉市、柏市、袖ヶ浦市、睦沢町等が掲載）



ランプコントロールタワーで
成田空港の説明を受ける参加者



航空科学博物館では、職員の方の
説明でボーイング747等を見学

(6) 参加者の感想

- ・丁寧な説明をいただき、子どもにもわかりやすかった。
- ・国内線が数多く飛んでいること、検問を止まることなく通過できるようになったことに驚いた。
- ・ランプコントロールという仕事を知ることができてよかった。
- ・もっともっと成田空港の中を見てみたかったです。整備などなどです。
- ・空港内でのたくさんのお仕事を紹介してくれると嬉しかった。
- ・できたら航空科学博物館のほうをもう少しゆっくり見学したかった。

[総括]

- 80組の募集に対し、約1000組の応募があるなど、反響が大きく、ナリタファンの獲得に効果的であった。
- 特に、国内線LCCの就航など、進化するナリタを知らない参加者が多く、それらを伝えることができた。
- 来年度は、成田空港の概要についての説明や、整備工場の見学など、成田空港にさらに特化した形で実施を検討したい。

[メディアへの露出] 1件

□新聞 日経新聞（10月19日）

[協力会員]

(株)秋葉牧場（成田ゆめ牧場）、（公財）航空科学博物館、
京成トラベルサービス(株)、千葉中央バス(株)、成田国際空港(株)、千葉県

ウ 会員向け利用促進

会員向け成田空港利用促進キャンペーン

会員に成田空港が“OUR AIRPORT”であることの認識を持っていただき、積極的に利用してもらうため、昨年度に引き続き、会員航空会社及び旅行会社と連携し、会員向け旅行商品を造成(アレンジ)し、利用した会員に対してインセンティブを提供した。

また、成田空港から発着する便を個人で利用した会員に対してもインセンティブを提供した。

16.10/30~17.3/24発 Jetstar エースJTB 成田発 ジェットスターで行く17,900円~83,900円 沖縄・九州・北海道

含まれるもの おひとりからお申込OK!

往復の航空機 + ホテル・旅館

お申込のご案内 ※裏表紙も必ずお読みください

- ①出発日の5日前17時までにお申込ください。ただし出発日の5日前が土・日曜、祝日の場合はお申込締切が早まります。販売店までお問合せください。
- ②先着順です。お申込の状況により、6歳以上11歳以下はおとなと同額となります。予めご了承ください。
- ③2歳以上5歳以下は航空運賃のみ必要となります。
- ④座席を必要としない幼児(0-1歳)はご予約時に生年月日が必要となります。
- ⑤座席指定はできません。 ⑥出発時刻の50分前までに集合ください。
- ⑦無料での飲料機内サービスはありません。 ⑧身分証明書をご持参ください。

期間 2016年10月30日~2017年3月24日(成田発最終)

出発地	行き	戻り	運賃
成田	那覇	成田	17,900円
成田	福岡	成田	17,900円
成田	札幌	成田	17,900円
成田	那覇	那覇	83,900円
成田	福岡	福岡	83,900円
成田	札幌	札幌	83,900円

16.6/13-9/29発 Jetstar エースJTB 成田発 ジェットスターで行く13,900円~50,900円 沖縄・北海道・九州・四国

含まれるもの おひとり様からお申込OK!

往復の航空機 + ホテル・旅館

お申込のご案内 ※裏表紙も必ずお読みください

- ①出発日の5日前17時までにお申込ください。ただし出発日の5日前が土・日・祝日の場合はお申込締切が早まります。販売店までお問合せください。
- ②先着順です。お申込の状況により、6歳以上11歳以下はおとなと同額となります。予めご了承ください。
- ③2歳以上5歳以下は航空運賃のみ必要となります。
- ④座席を必要としない幼児(0-1歳)はご予約時に生年月日が必要となります。
- ⑤座席指定はできません。 ⑥出発時刻の50分前までに集合ください。
- ⑦無料での飲料機内サービスはありません。 ⑧身分証明書をご持参ください。

出発地	行き	戻り	運賃
成田	那覇	成田	13,900円
成田	札幌	成田	13,900円
成田	福岡	成田	13,900円
成田	那覇	那覇	50,900円
成田	札幌	札幌	50,900円
成田	福岡	福岡	50,900円

を使っ

[展開]

(1) 個人向け旅行商品インセンティブ

LCC利用を前提とした個人向け旅行商品を造成(アレンジ)し、インセンティブとして利用者の旅行代金を割り引きした。

(2) 団体向けインセンティブ

会員が、各会員旅行会社に団体旅行を依頼した場合、一定額を限度にインセンティブを支払った。

(3) 個人向け航空券インセンティブ

会員が、各会員航空会社の成田空港を発着する便を利用した場合、航空券の代金の一部をキャッシュバックした。

[利用実績]

- (1) 個人向け旅行商品インセンティブ 9名
- (2) 団体向けインセンティブ 1団体
- (3) 個人向け航空券インセンティブ 100名

[参画会員]

近畿日本ツーリスト(株)、京成トラベルサービス(株)、(株)JTB コーポレートセールス、(株)日本旅行千葉支店、ジェットスター・ジャパン(株)、バニラ・エア(株)

[総括]

- 個人向け旅行商品インセンティブについては、旅行商品が時期によって売り切れなどがあったため、利用者数が伸びなかった。
- 個人向け航空券インセンティブについては、使い勝手がよく、多くの方に利用された。

(3) ビジネス支援事業

ア 会員の新たな事業・ビジネス展開に向けた協働の場づくり

成田空港からの二次交通等に関する研究会

千葉県旅館ホテル組合等4団体から「成田空港と外房就地区を結ぶバス路線」について提案を受け、提案団体・地元自治体等の関係者を中心に研究会を設置し、地元の受入体制等の現状・方向性等問題意識を共有し、二次交通等の可能性を検討した。

[展開]

1. 事業の概要

(1) 研究会のメンバー

地元自治体 (鴨川市、勝浦市)
地元観光業者 (千葉県旅館ホテル組合)
地元観光団体 (鴨川市観光協会、勝浦市観光協会)
地元商工会 (鴨川市商工会、勝浦市商工会)
千葉県 (空港地域振興課、交通計画課、観光企画課、観光誘致促進課)
成田国際空港(株)
(株)ちばぎん総合研究所

(2) 業務委託先

(株)ちばぎん総合研究所

2. 研究会の概要

● 第1回 (ワークショップ①)

日 程 5月26日 (木) 10:00~12:00

開催場所 プラザ菜の花「特別会議室」

内 容 (1) 研究会の概要説明
(2) メンバー紹介
(3) 平成27年度実証実験結果の概要
(4) 地元受入体制のメニューづくり

● 第2回 (ワークショップ②)

日 程 11月24日 (金) 13:30~15:30

開催場所 鴨川市役所 7階 会議室

内 容 (1) 観光の現状・課題の確認
(2) 県高速バス実証実験・予約状況の確認・分析
(3) バス運行シミュレーション結果の確認
(4) 運行実現のための課題と取組方向の検討

(5) 研究会の今後の活動について

(6) その他

・シャトルバス鴨川・小湊温泉号について

●第3回（ランドオペレーター(株)PEJとの意見交換会）

日 程 12月20日（水）13：00～15：00

開催場所 メルキュールホテル成田「ボードルーム」

内 容 (1) 成田空港活用協議会から(株)PEJ 朴社長への質問
(2) 鴨川・勝浦からランドオペレーターへのプレゼン
(3) 鴨川・勝浦と朴社長とのインバウンド誘致に向けた意見交換

●第4回（ランドオペレーター(株)PEJの鴨川市・勝浦市現地視察）

日 程 2月24日（金）2月25日（土）1泊2日

視察場所 ①鴨川市内視察・体験（2／24）

及び内容 鯛の浦遊覧船、祭り寿司づくり体験等8か所視察・体験
鴨川ユニバースホテル会議室にて意見交換会

②勝浦市内視察・体験（2／25）

朝市、勝浦ビッグひな祭り（遠見岬他）等8か所視察

松の家2階広間にて意見交換

かつうら海中公園レストランにて意見交換



鴨川ユニバースホテル会議室での意見交換会



キュステでのひなまつり見学風景

●第5回（ワークショップ③）

日 程 3月17日（金）13：30～15：30

開催場所 プラザ菜の花「特別会議室」

内 容 (1) 運行実現のための課題と取組方向の確認

①バス運行シミュレーション結果の再確認

②取組の目的と考え方

(2) インバウンド受入体制づくり

①ランドオペレーターとの事前の意見交換

②ランドオペレーターによる現地視察

③他地域と連携したメニュー開発の視点

④勝浦・鴨川地域での受入（滞在）メニューの検討

(3) 研究会の活動経緯と今後の活動について

(4) その他



第1回ワークショップの様子



第3回ワークショップの様子

[総括]

- 成田空港から勝浦・鴨川へのバス運行シミュレーション結果で、運行経費及び採算人員等を定期便とチャーター便で試算し、現状での運行の実情についてメンバーで共有できた。
- 参加メンバーによるインバウンドに対する取組み・考え方に差があり、研究会の進行等に影響を及ぼした。
- ランドオペレーターの商談会をきっかけとして、ランドオペレーターとの意見交換や現地視察が実施でき、それぞれの視察・体験場所の感想・評価の意見交換ができた。
- 次年度の研究会について、参加者メンバーの意見・今後のインバウンドに対する考え方等のヒアリングを実施し、提案者を中心とした実のある研究会へと繋げていきたい。

成田空港と圏央道を活用した地域開発プロジェクト研究会

成田空港や圏央道の整備の進展により、千葉県のパテンシャルは飛躍的に高まっており、その効果を千葉県経済の活性化につなげていくことがこれまで以上に重要になってきている。そうしたなか、産業振興と雇用創出に向けた地域開発プロジェクトがどのように構想・実現されるのかを地元自治体、経済団体及び金融機関等とともに学ぶ機会として、県内商工会議所6団体（千葉、木更津、茂原、八街、東金、市原）との共催により、3回にわたって「成田空港と圏央道を活用した地域開発プロジェクト研究会」を開催した。

[展開]

〈第1回〉

日 時：平成29年1月25日（水）13：30～15：30

場 所：東金文化会館

テーマ：圏央道エリアの課題と認識の共有

内 容：地域経済・産業振興・雇用機会の創出に向けた民間デベロッパーからの課題提起と考察

講師 ㈱フジタ 営業本部 理事 岡山 幸次郎 氏

参加者：46名

〈第2回〉

日 時：平成29年2月8日（水）9：00～17：45

場 所：伊勢原市東部第二地区 区画整理事業区域内

テーマ：圏央道周辺の工業系土地区画整理事業の現地視察

内 容：①現地視察、事業概要、伊勢原市東部第二地区区画整理組合及び業務代行者（フジタ）との意見交換

②土地区画整理事業立ち上げの背景、経緯、事業立ち上げのポイント、伊勢原市都市部新産業拠点整備課との意見交換

参加者：25名

〈第3回〉

日 時：平成29年3月21日（火）13：30～15：30

場 所：東金商工会館

テーマ：圏央道エリアにおける開発事業推進手法等について

内 容：①開発事業推進手法について

講師 (株)フジタ 地域開発推進部 営業部長 鎰谷 聡 氏

②圏央道エリアの企業ニーズと企業誘致の方策

講師 (株)フジタ 営業本部 理事 岡山 幸次郎 氏

参加者：40名

[アンケート結果及び主な意見]

○ 第1回研究会について

大変満足・やや満足 75% 大変不満・やや不満 25%

- ・企業誘致のためには、地道なアンケート、DMによる調査・営業が必要なのことが分かりました。
- ・開発者目線での採算性の確保やリスク回避の考え方など、今後の計画を進める上で参考になった。

○ 第2回研究会について

大変満足・やや満足 100%

- ・事例研究として、事業に関わった各セグメントの方々を一堂に集められ、包括的、詳細にお話を伺えたことが大変参考になりました。
- ・関係者の方々の熱意、連携が素晴らしく、手続き論以前の、熱意（合意）形成、推進への不断の尽力（姿勢）を学びたいと思いました。

○ 第3回研究会について

大変満足・やや満足 100%

- ・開発事業手法や企業ニーズ等、民間の方が注目している点をわかりやすく理解することができました。
- ・総合計画、都市マスタープランの策定準備に入るため、とても参考になった。

[メディアへの露出] 3件

- 新聞 日経新聞（1月25日）、千葉日報（1月26日）、
日経新聞（3月9日）

[参画会員]

（一社）千葉県商工会議所連合会

[協力会員]

千葉商工会議所

[総括]

- 地域開発に携わる機会が少ない中、実際の事例や開発手法について学習を行うことで、参加者が今後の成田空港や圏央道の整備の進展に伴う産業振興や地域活性化に取り組む際の具体的なイメージをもつことができた。
- 参加者へのアンケートでは、第1回研究会のような抽象的な内容より、第2回、第3回研究会のような具体的な内容のほうが、満足度が高かった。また、圏央道の千葉県区間の全線開通を見据え、引き続き圏央道沿線との連携も視野にいられたご検討をお願いしたいという意見があった。
- 今後も圏央道沿線の他のエリアの事例等について、セミナーなどを開催し、産業振興や地域活性化の取り組みへと繋げていく。

イ 経済活性化セミナー

第1回県内経済活性化ビジネスセミナー

平成27年度に実施した成田空港圏（千葉県、東京都、神奈川県、埼玉県、茨城県）の物流業界の現状について調査した「成田空港圏における物流動向調査」の調査結果について、会員のビジネスチャンスや企業誘致につなげるため、「成田空港圏における物流動向調査～物流ポテンシャルの活用による千葉県経済の活性化に向けて～」と題したセミナーを、平成28年度総会に併せて実施した。



セミナーの様子



講演する関部長

[展開]

- 本セミナーでは、「成田空港圏における物流動向調査～物流ポテンシャルの活用による千葉県経済の活性化に向けて～」と題して、調査を受託した(株)ちばぎん総合研究所の関調査部長が講演を行った。
- セミナーでは、調査結果の概要を説明し、成田空港の機能の拡充の推進、圏央道及び幹線道路の整備推進、既存産業の活性化及びオール千葉県での企業誘致活動の推進の重要性を訴えた。

[参加者等]

□会員 80団体(社) 126名

[アンケート結果]

○セミナーの内容について

- | | | | |
|------------|-------|---------------|-------|
| ・大いに参考になった | 39.3% | ・ある程度参考になった | 60.7% |
| ・どちらともいえない | 0.0% | ・あまり参考にならなかった | 0.0% |
| ・参考にならなかった | 0.0% | | |

○主な意見

- ・成田空港、圏央道が千葉県物流に及ぼす影響が大きいと感じた。
- ・物流事業所が増えてきている地域が成田空港とアクアライン周辺に偏っており、今後もこの流れが続きそうだと認識しました。
- ・数値をとらえたことで説得力があった。
- ・空港を活用した物流の動向等を把握でき、大変参考になった。
- ・県の物流動向を把握できた。県内市町村のデータがあれば知りたかった。
- ・インバウンドが脚光を浴びる中、旅客だけでなく、成田は特に貨物が多いので、その影響は物流に大きく寄与していることがわかった。
- ・圏央道の開通目標の早期提示（大栄～横芝間）がいかに重要なことか改めて理解でき、大変参考になった。
- ・企業誘致を進めるうえでの企業ニーズが把握できたため、今後の参考にしたい。
- ・企業が必要としている用地面積は5,000㎡ということが参考になった。

[総括]

- 本調査の実施については、将来の物流を起点としたビジネスチャンスや企業誘致を考える基礎データを提供することが出来た点、成田空港の更なる機能強化の推進、圏央道及び幹線道路の整備推進、既存産業の活性化及び企業誘致の促進の重要性について認識する機会を設けられた点など、一定の意義があった。
- セミナーについては、総会後に実施したため、多くの会員に参加をいただくことができた。
- オリンピック・パラリンピック、農水産物の輸出、インバウンドなどにかかるセミナーの開催を求める意見があったため、今後の課題としたい。

インバウンドセミナーの実施について

(第2回県内経済活性化ビジネスセミナー)

政府は、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、訪日外国人観光客数の目標を年間4,000万人、さらに、2030年には6,000万人としている。

一方、国内旅行需要が減少する中、如何にインバウンドを取り込んでいくかが観光による地域経済活動を活性化するうえで重要な鍵となる。

そこで、インバウンドの意義や経済効果等について、会員等の理解をより一層高めることを目的にセミナーを開催するとともに、あわせて、交流会を開催し、講演者と会員等の相互交流を図った。



早川会長の基調講演



田中部長の基調講演



パネルディスカッション



交流会の様子

[展開]

日時：平成28年11月9日(水) 13:30～16:30

場所：三井ガーデンホテル千葉 3階「平安」

内容：

● 基調講演 I 「基礎からわかるインバウンド観光」

講師 早川 康一氏 (千葉インバウンド促進協議会会長、

マロウドインターナショナルホテル成田取締役総支配人)

どこがターゲットなのか、国別の現状と特徴、インバウンドを取り込む上での注意点等、本気で取り組むポイントや重要性についての話があった。

● 基調講演Ⅱ「高山市の海外戦略への挑戦」

講師 田中 明氏（高山市ブランド・海外戦略部長）

高山市の外国人誘客の取り組み経緯、インバウンドの経済波及効果、高山市の挑戦（積極的なプロモーション、PRの充実、多言語による案内看板等）についての話があった。

● パネルディスカッション 「本気で取り組むインバウンド」

モデレーター 小松孝之氏（成田空港活用協議会経済活性化部会長、
（株）ちばぎん総合研究所調査部部長）

パネリスト 鈴木 健史氏（（株）鴨川グランドホテル代表取締役）

朴 恩子氏（（株）PEJ代表取締役）

早川 康一氏 田中 明氏

都県を越えた面としてのアプローチの重要性にあわせ、旅行商品の造成などに大きな影響力をもつランドオペレーターからみたインバウンドの誘致の秘訣について、外国人目線による商品造成や二次交通のあり方などの議論がなされた。

● 交流会

登壇者と会員の相互交流を図るとともに、PRタイムではビー・トランセホールディングス（株）、米屋（株）、山武市の3会員から自社のPRが行われた。また、会場には、会員からのPR用パンフレットを展示し、PRに努めた。

〔参加者等〕

□会 員 セミナー 71団体（社）136名
交流会 59団体（社）106名

〔アンケート結果及び主な意見〕 N=79

○ 基調講演Ⅰについて

期待以上 15.2% 期待通り 79.7%

- ・数多くの海外のお客様をお迎えしている実績を裏付けるお話は、説得力があった。経営・営業・現場が一致して取り組む覚悟も共感できた。

○ 基調講演Ⅱについて

期待以上 43.0% 期待通り 53.2%

- ・30年前よりインバウンドに取り組んだことに驚いた。
広域の自治体と手を組んでいる。

○ パネルディスカッション

期待以上 27.8% 期待通り 51.9%

- ・外国人目線で価値を見直し、ターゲットを絞り込むことやランドオペレー

ターの必要性、重要性、有効性がわかった。

- 自社（団体）の今後のインバウンド展開に参考となりましたか
大いに参考となった 26.6% 参考になった 64.6%
- 翌年度以降、インバウンドセミナーがあった場合、ご参加を希望されますか
参加したい 67.1%

[総括]

- 早川氏、田中氏の基調講演に続いて、小松経済活性化部会長をモデレーターに基調講演の2名に、鈴木氏、朴氏を交え、パネルディスカッションを行なった。それぞれの立場からインバウンド対応について具体的なお話をいただき、参加された会員及び傘下の会員が、「本気になっての取組み」「高山市の取組み、広域連携」「ランドオペレーター的重要性」などを認識・理解できたことは、有意義であった。また、交流会での懇親の場を含め、今後につながるようなきっかけづくりに役立てたものと思われる。
- 参加者へのアンケートでは、基調講演は、期待通り以上の回答が95%以上で、パネルディスカッションについても期待通り以上が約80%、自社（団体）の今後のインバウンドの展開に参考となったとの回答が90%以上と参加者の満足度は高かったことが伺える。また、今後、インバウンドセミナーがあった場合、参加したいとの回答が、多数を占めた。
今後も会員の事業・ビジネス展開に役立つセミナーを実施していきたい。
- 当セミナーの開催に続き、12月1日にランドオペレーターとの商談会を開催し、会員のインバウンド誘致の取組につなげることができた。

ウ マーケットリサーチ

千葉県のインバウンドの対応力向上に向けた調査

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催決定などを契機にインバウンドが右肩上がり増加しており、2016年には外国人訪日旅行者が2,404万人と2020年までに2,000万人とした政府の目標を前倒しで達成した。

このような状況下、当協議会では、2014年度にインバウンド動向調査を実施し、外国人訪日客のニーズ等について洗い出しを行った。本調査は、同調査の後継調査と位置づけ、当協議会会員及び千葉県内企業のインバウンドに対する期待と対応状況を明らかにするなかで、各主体（企業・団体・自治体）が今後取り組むべきことを「見える化」することを目的に実施した。

[展開]

- 本調査では、各主体（企業・団体・自治体）のインバウンドの受入状況や対応状況を確認するアンケート調査と、インバウンド関連事業や対応に先進的に取り組んでいる自治体等の調査を行うことで、各主体が今後取り組むべきことを「見える化」することを目的とした。
- また、調査結果を分析し、千葉県のインバウンドの対応力向上に向けて、必要な取り組みについて提言を行った。

➤ 企業・団体向けアンケート調査

目的：現状の企業・団体のインバウンドの受入状況、受入方針、対応課題及び期待等の把握。

対象：5,000社（業種：飲食店、小売業、宿泊業、娯楽業、道路旅客運送事業、鉄道事業）

項目：現在の業況及び今後の見通し、インバウンドの受入状況、インバウンドの受入方針、インバウンド向け対応を進める際の問題点・課題など

➤ 自治体向けアンケート調査

目的：現状の自治体のインバウンドの入込状況、インバウンドの取込みに向けた施策・事業及び課題等の把握。

対象：千葉県内自治体54市町村

項目：地域経済の現状・方向性、インバウンドの入込状況、インバウンドに対する期待、インバウンドの取込みに向けた施策及び課題など

➤ 先進事例調査

目的：先進的なインバウンド事業やインバウンド対応を行っている自治体及び民間企業・団体の事例の把握。

対象：地方創生の交付金事業でインバウンド関連事業を行っている自治体
インバウンド対応に取り組んでいる民間の事例

項目：取組経緯、取組概要、取組効果、今後の課題など

[参画会員]

(株)ちばぎん総合研究所、成田国際空港(株)、千葉県

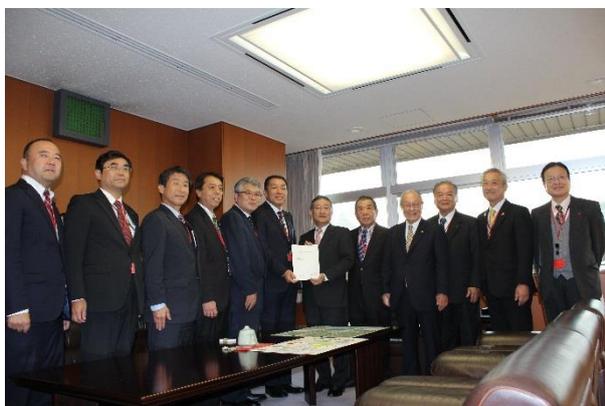
[総括]

- 観光関連企業のインバウンド対応意欲をみると、「積極的に受け入れたい」と回答した企業は約2割と低位に留まっている。一方、インバウンドに積極的に対応している企業の業績が、そうでない企業に比べて好調という調査結果を見る限り、インバウンドに対して積極的に対応していない企業の一部は売上機会を逸している可能性がある。
- インバウンドの集客に向けて、周辺エリアの観光資源の乏しさをボトルネックにあげる中小企業が多かったことから、産官学など地域の関係主体とともに、より広域的な視野で連携事業を推進することで、地域の魅力を高める必要もある。
- インバウンドの対応力向上に向けて、“ちば”ならではの魅力づくり、徹底したマーケティングの実施、“ちば”ならではのおもてなしの提供及び広域連携と2次交通への対応に取り組む必要がある。

(4) 要望活動

首都圏中央連絡自動車道及び北千葉道路の整備推進に関する要望

2016年の訪日外国人旅行者が2400万人を超えるなど、成田空港の果たす役割はますます大きくなっている。この成田空港から生じる経済的な効果を県内はもとより首都圏に波及させるためには、交通網の整備が極めて重要であり、その基幹インフラとなる首都圏中央連絡自動車道（圏央道）と北千葉道路の一日も早い開通が不可欠であることから、整備推進等について県内関係2団体とともに平成28年11月22日（火）に国に対して要望活動を実施した。



武藤国土交通事務次官への要望



国土交通省道路局長への要望

要望活動の様子

[展開]

- 県内関係2団体（千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟、首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議）とともに、国等に対して要望活動を実施。

《要望先》

- ・ 財務大臣、財務副大臣、財務大臣政務官、財務事務次官 ほか8名
- ・ 国土交通大臣、国土交通副大臣、国土交通大臣政務官、国土交通事務次官、道路局長 ほか21名
- ・ 県選出国會議員

《要望内容》

- 1 圏央道の一日も早い全線開通を図ること。
 - ・大栄・横芝間については、用地取得を確実に進め、開通目標を設定し、一日も早い開通を図ること。
 - ・開通目標を設定している区間については、期日までの確実な開通を図ること。
 - ・暫定2車線区間については、早期に4車線化に着手し、一日も早く完成させること。
 - ・圏央道のストック効果をより高めるインターチェンジへのアクセス道路が確実に整備されるよう予算の重点配分を行うこと。

- 1 北千葉道路の早期整備を図ること。
 - ・印西市・成田市間の13.5kmについて、一日も早い完成に向け、より一層の事業推進を図ること。
 - ・北千葉道路の西側区間（小室IC以西）の専用部については、高速道路強化のため、規格の高い道路で整備するとともに、市川・鎌ヶ谷間の一般部については、地域にとって利便性の高い道路とすること。
 - ・全線開通の実現に向け、西側区間（小室IC以西）の早期事業化を図るとともに、全線を直轄管理区間とすること。

- 1 国内外からの観光集客や産業の振興を促進し、地域経済に好循環をもたらすストック効果を早期に発揮させるよう、圏央道及び北千葉道路といった民間投資を誘発するストック効果の高い道路事業をより推進するため、道路予算全体を増額し、計画的かつ着実な進捗を図るため、必要な予算を確保すること。

[メディア露出] 1件

□新聞 千葉日報（11月23日）

[総括]

- この2つの道路は、成田空港の利便性向上や成田空港の経済効果を千葉県全体、首都圏全体に波及させるために不可欠な基幹インフラであることから、今後も引き続き要望活動を続けていく。

(5) 会員提案の募集・具体化

○ 会員提案の募集

圏央道等の交通インフラの整備進展と併せて、利便性がますます向上する成田空港を活用して、本県の経済活性化につながる取組として、平成28年度事業計画（素案）の中で、協議会と連携・協働したい事項に係る提案及び協議会事業全般についての自由意見を募集した。

《主な提案》（提案件数19件）

- ・ 成田空港と県内観光地を結ぶ高速バス実証運行事業のPR・情報発信
- ・ パークゴルフを活用した国内線就航先との交流促進
- ・ 中国語及び英語のポータルサイト等を利用したWEBでの情報発信
- ・ ランドオペレーターとの商談会の実施
- ・ 海外のメディア等を対象としたファムトリップの実施
- ・ 圏央道の早期全線開通にかかる要望活動
- ・ 北千葉道路整備の早期事業化にかかる要望活動
- ・ LCC国内線就航地（熊本）との連携
- ・ インバウンドに関するセミナーの実施
- ・ 地域開発プロジェクト研究会の実施

○ 会員提案の検討・具体化（平成28年度事業への取り入れ）

平成28年度事業計画に位置付けられている以下の事業に、会員提案を取り入れ実施した。

- ・ 北海道・千葉パークゴルフ交流大会及びモニターツアーの実施（H26提案）
- ・ 海外のポータルサイト等を利用したWEBでの情報発信（H28提案）
- ・ 千葉県高速バス実証運行事業と連携した空港利用促進事業の実施（H27提案）
- ・ タイ王国からのメディア招聘事業の実施（H28提案）
- ・ ランドオペレーターとの商談会の実施（H26提案）
- ・ スポーツツーリズムをテーマとした国内線就航先との連携（H28提案）
- ・ 北関東エリアの商業施設等でのイベント開催（H28提案）
- ・ インバウンドに関するセミナーの実施（H28提案）
- ・ 成田空港からの二次交通の確保に向けた検討（H27提案）
- ・ 成田空港や圏央道等を活用した産業振興に向けた検討（H28提案）
- ・ 圏央道の早期全線開通にかかる要望活動（H25提案）
- ・ 北千葉道路整備の早期事業化にかかる要望活動（H25提案）

(6) その他

- 協議会の活動を広く広報するため、プレスリリースはもとより各種メディア媒体の利用や報道機関へのアプローチを展開することにより、メディアへの露出を積極的に図った。

《プレスリリース実績》 18件

(平成28年)

- 5月12日 「平成28年度成田空港活用協議会総会及び第1回経済活性化ビジネスセミナーの開催について」
- 6月10日 「成田空港からぐるっと！千葉の魅力を海外に発信～タイ王国のメディア関係者を千葉県に招請します～」
- 7月28日 「成田空港等への社会科見学の実施に向けた『教職員モニターツアー』の実施について」
(2件) 「千葉ロッテマリーンズコラボ企画！成田LCCを使って応援に行こう！キャンペーンを実施します」
- 8月2日 「ジェフユナイテッド市原・千葉、ロアッソ熊本コラボ企画成田LCCを使って応援に行こう！キャンペーンを実施します」
- 8月31日 「チバストーリー連動企画プレゼントキャンペーン」
(2件) 「『北海道・千葉交流パークゴルフ大会 IN 北海道』の開催について」
- 9月7日 「札幌プロモーション等知事出席一部取り止め」
- 10月4日 「『国際フェスティバル世界市』への協賛&PRを行います。」
- 10月18日 「ナリタファン拡大企画第2弾『成田空港親子見学バスツアー』の実施について」
- 10月25日 「成田空港活用協議会学生連携プロジェクト【女子旅×成田LCC】「女子旅」テーマのInstagramアカウントを開設 一般ユーザーの「女子旅」に関する素敵な投稿を毎日紹介！」
- 11月2日 「平成28年度第2回『県内経済活性化ビジネスセミナー』～今しか聞けないインバウンド～」
- 11月25日 「ランドオペレーターとの「商談会・交流会」の実施について アジアからの観光客の更なる増加を目指します！」

(平成29年)

- 1月 5日 「成田空港から今しかできない旅をしよう！～千葉県内成人式連動キャンペーンについて～」
- 1月23日 「成田空港と圏央道を活用した地域開発プロジェクト研究会～地域開発プロジェクトはどのように構想・実現されるのか～」
- 2月22日 「ランドオペレーターによる「鴨川市・勝浦市視察及び意見交換会の実施について」
- (2件)
- 「成田空港活用協議会学生連携プロジェクト【女子旅×成田LCC】就航先女子学生を「#LCC女子旅千葉」ツアーへ招待！！ツアーの様子は随時Instagramで情報発信！」
- 3月 8日 「『北海道・千葉交流パークゴルフ大会 IN 千葉』の開催についてパークゴルフ発祥の地で公認コース数全国1位の北海道と公認コース数2位の千葉県の相互交流を促進。」

《広告等掲載実績》9件

(平成28年)

- 4月28日 日刊工業新聞（空港利用促進）
- 6月25日 パークゴルフ新聞（誘客促進、ツアー募集）
- 8月 マリーナズマガジン（誘客促進）
- 8月 ジェフユナイテッド千葉会報誌（誘客促進）
- 10月 8日 国際フェスティバル世界市パンフレット（空港利用促進）
- 10月25日 パークゴルフ新聞（誘客促進）

(平成29年)

- 2月25日 パークゴルフ新聞（誘客促進）
- 2月28日 日刊工業新聞（空港利用促進）
- 3月20日 ハイウェイウォーカー（空港利用促進）

《PR媒体等の制作》

- | | |
|---------------------------|---------|
| ・パークゴルフモニターツアーIN北海道PRポスター | 10部 |
| ・QVCマリンフィールドイベント配布チラシ | 45,000部 |
| ・フクダ電子アリーナイベント配布チラシ | 12,000部 |
| ・うまかな・よかなスタジアムイベント配布チラシ | 10,000部 |
| ・札幌ドームイベント配布チラシ | 15,950部 |
| ・成人式キャンペーン用配布チラシ | 28,000部 |
| ・チバストーリー国内線PRチラシ | 7,300部 |
| ・北関東キャンペーン配布チラシ | 700部 |
| ・パークゴルフ大会IN千葉PRポスター | 20部 |
| ・女子旅×成田LCCPRチラシ | 2,000部 |

- 協議会の会員向けにメール等での情報発信をさらに強化し、会員間における活動状況や成果の共有を図った。(平成28年度メール発信数23件)
- 会員が主催するイベントに対する後援や、会員によるプロモーションと連携・連動し、協議会及び協議会会員のPRを行った。
 - ・成田国際空港㈱参加「国際フェスティバル世界市」への協賛&PR(再掲)
 実施日：平成28年10月8日(土)、9日(日)
 会 場：さいたまスーパーアリーナ前けやき広場
- 会員による積極的な成田空港利用を促す取組として、会員旅行会社、会員エアラインと共同で、会員による成田空港利用の旅行への補助や既存の旅行商品に特別割引を付加した会員向け旅行商品のアレンジのほか、成田空港を利用した団体旅行や成田空港を発着する会員エアラインを利用した個人旅行に対して航空券代金の補助を実施した。

利用実績：①個人向け旅行商品プラン 9名
 ②団体向け旅行プラン 1団体
 ③個人向け航空券プラン 100名

